



サステナブルな社会を目指して①

◆人類存続の危機！？

温暖化、資源の枯渇、世界的な人口増加、廃棄物など地球環境は様々な問題を抱え、人類が未来永劫、豊かに存続できるかどうか危機感が高まっています。

こうした中、「サステナブル」を世界的なキーワードとして、未来の世代も、美しく平和な地球ですっと生活できるような動きが活発になっています。



◆そもそも「サステナブル」ってなに？

「サステナブル(Sustainable)」とは「持続可能な」という意味があります。環境対策も行いながら経済を発展させ、人や社会、地球にもやさしいシステムやサービスを取り入れることにより人類、地球は「持続可能」となる、つまり「サステナブルな社会」が実現するといわれています。

ここ近年話題の「SDG s」もサステナブル(Sustainable)の頭文字「S」が用いられています。

◆サステナブル、SDG s、ESG、CSR・・・類似的な横文字がたくさん！

サステナブルに対する取組みが加速していく中、最近では関連する用語をメディアなどでよく目にするようになりました。英字の略語である上、言葉の意味も類似しており、違いがわからず混乱してしまいます。ここではその一部を簡単に紹介します。



SDG s : Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称

持続可能な社会実現に向け、「誰一人取り残さないこと」を理念に 2030 年までに達成するために掲げた目標。2015 年に国連で採択。17 のゴール、169 のターゲットで構成。

ESG : Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の頭文字

2006 年に国連が提唱した「責任投資原則(PRI)」に投資の意思決定をする際に ESG の観点を考慮すべきと示したことにより注目をされる。持続可能な社会実現が求められている昨今、更に注目を集めています。

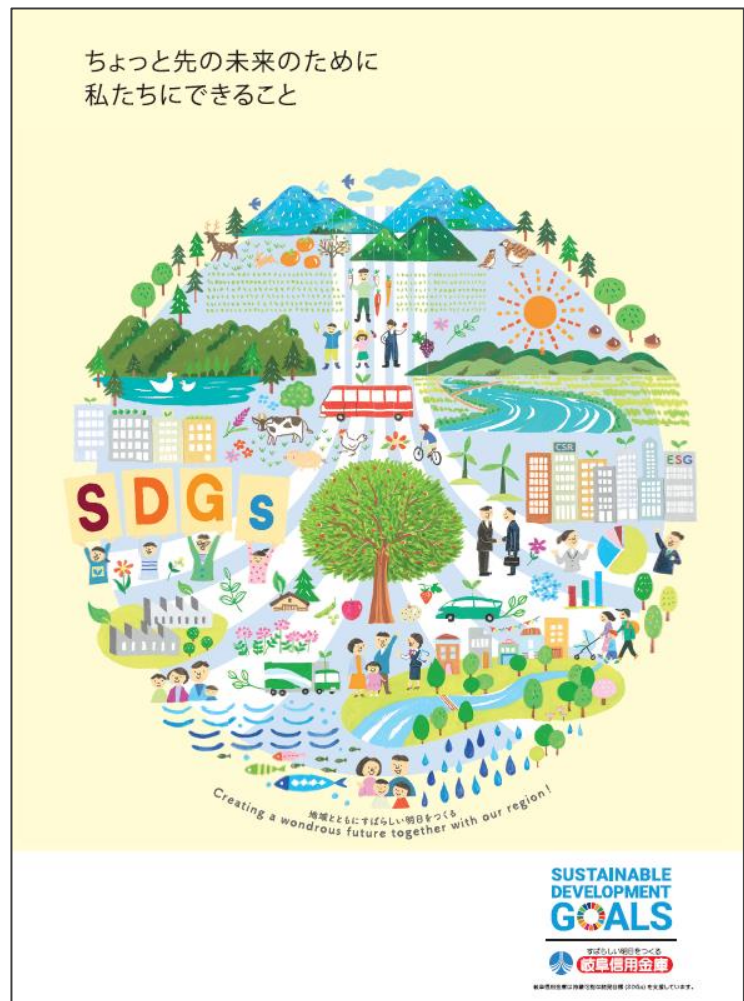
CSR : Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)の略語

企業は利益の追求だけでなく、全てのステークホルダー、社会全体に対する影響を考慮しながら経営を行うことを意味しており、2000 年代に相次いだ企業の不祥事により注目を集め、昨今は SDG s、ESG と同様に持続可能な企業活動に必要不可欠として再注目されています。

その他 TCFD、SBT、CDP などなどサステナブルに関連する用語はたくさん！サステナブルに対する取組みが高まっていることが表れています。

◆ちょっと先の未来のために私たちにできること

これは当金庫がSDGsの活動に対し、暮らしに直結する身近な課題の解決に向けて、「私たちが可能な範囲で少しずつ取り組んでいこう」という、ささやかなメッセージを含めたキャッチコピーです。地域社会の一員である当金庫は、職員、取引先様、地域住民の皆さまのサステナブルな社会の実現を加速させていくための活動の一環として、SDGsへの取り組みを表現したポスターを新調しましたのでご紹介させていただきます。



SDGsポスター解説

多くの植物、生物が共存できる山づくり。山は豊かな海づくりの役目も果たしている。

化学肥料、農薬等を節減した「クリーン農業」の実施

絶滅が危惧されるライチョウも生息できる自然環境

ESGやCSRに配慮した経済成長をリードする都心部で働く人々のSDGsへの高まりを描いている。

地元中小企業の本業支援に取り組む当庫職員。

山から都市、やがて海へとつながる清流は、循環する自然環境を語る象徴。

中心は赤い実をつけた「イチイ」の木。円(地球)の中で行われた活動の積み重ねがやがて実りとなり、SDGs達成に寄与する様子を描いている。

SDGsのフラカードを掲げる性別、年齢層が異なる個人。未来に向けてSDGsに取り組んでいく意思表示。

クリーンな環境の下で、産業や技術の発展を支えている工場。持続可能な経済活動を描いている。

お客さまのライフプランに寄り添った提案を行う当庫職員。

次回「サステナブルな社会を目指して②」ではサステナブルな社会実現に向けた当庫の取り組みについてご紹介させていただきます。